

製品名: Fas ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21515**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:38kD;Observed MW:40kD

抗原情報

遺伝子名	FAS
別名	FAS;APT1;FAS1;TNFRSF6;Tumor necrosis factor receptor superfamily member 6;Apo-1 antigen;Apoptosis-mediating surface antigen FAS;FASLG receptor;CD antigen CD95
遺伝子 ID	355.0
SwissProt ID	P25445
免疫原	ヒト Fas の合成ペプチド

背景

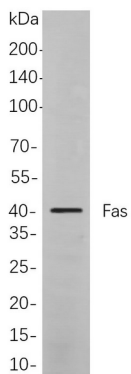
細胞局在: 膜性。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーである。この受容体は

デスドメインを含む。プログラム細胞死の生理的制御において中心的な役割を果たすことが示されており、様々な悪性腫瘍や免疫系疾患の病因に関与していることが示唆されている。この受容体とそのリガンドとの相互作用により、Fas 関連デスドメインタンパク質 (FADD)、カスパーゼ 8、およびカスパーゼ 10 を含む細胞死誘導シグナル伝達複合体が形成される。複合体中のカスパーゼの自己タンパク質分解プロセッシングは、下流のカスパーゼカスケードを誘導し、アポトーシスを誘導する。この受容体は NF- κ B、MAPK3/ERK1、および MAPK8/JNK を活性化することも示されており、正常な二倍体線維芽細胞および T 細胞における増殖シグナルの伝達に関与することが分かっている。いくつかの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。

研究分野

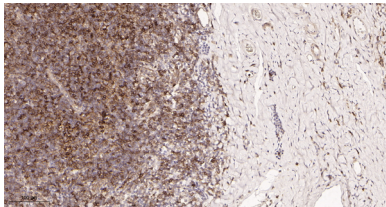
-

画像データ



HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析

Fas ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、Fas ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。